

対象となるワクチン

ワクチンは次の2種類 **いずれか1つ** を選択してください。

健康被害の救済制度

带状疱疹ワクチンは、予防接種法に基づかない、各自の判断で接種する任意の予防接種となります。任意の予防接種を接種した後、万が一健康被害が生じ、その健康被害が、带状疱疹ワクチンによるものと認められた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構による「医療品副作用被害救済制度」により、救済を受けることができます。



注意事項 どちらか一方のワクチンの補助を受けることができます。(2種類選択は不可)



乾燥弱毒生水痘ワクチン(生ワクチン)

必要接種回数

1回

接種方法

皮下注射

ワクチンの効果

- 水痘および、50歳以上の人に対する带状疱疹の予防
- 予防効果は、60歳以上の接種後1年以内で約68%あり、接種後8年での有効性は、約4.2%

※環境感染誌 Vol35Suppl,II,2020参考

副反応

接種部位の疼痛、発赤、筋肉痛や疲労感、発熱が見られる場合がある。まれにアナフィラキシーなど重篤な副反応が現れることがある。

補助額および回数

1回あたり

上限4,000円 × 上限1回まで

自己負担額について

医療機関の設定する金額^(※)から、市の補助額を差し引いた額を、自己負担金として医療機関にお支払いください。

※医療機関の設定する額は、医療機関によって異なりますので、接種を希望する医療機関にご確認ください。
(約8,000円～約10,000円)

例

医療機関の設定する額が1回9,000円の場合、9,000円から補助額の4,000円を引いた、5,000円を医療機関でお支払いください。



乾燥組換え带状疱疹ワクチン(不活化ワクチン)

必要接種回数

2回 (2回目は、1回目接種から、2カ月以上6カ月以内に接種)

接種方法

筋肉内注射

ワクチンの効果

- 50歳以上の人に対する带状疱疹の予防
- 予防効果は、50歳以上で約97%あり、接種後8年での有効性は、約84%

※環境感染誌 Vol35Suppl,II,2020参考

副反応

接種部位の疼痛、発赤、筋肉痛や疲労感、発熱が見られる場合がある。まれにアナフィラキシーなど重篤な副反応が現れることがある。

補助額および回数

1回あたり 上限10,000円 × 上限2回まで

- 1回目接種から、2カ月以上6カ月以内に2回目の接種をしてください。この期間外は補助対象外です。
- 補助申請は1人1度限りとなります。そのため、1度申請され1回でも接種の補助をご利用された場合は、上限額や上限回数に達しなかった場合でも、再度申請を頂くことはできません。

自己負担額について

医療機関の設定する金額^(※)から、市の補助額を差し引いた額を、自己負担金として医療機関にお支払いください。

※医療機関の設定する額は、医療機関によって異なりますので、接種を希望する医療機関にご確認ください。
(約20,000円～約25,000円)

例

医療機関の設定する額が1回22,000円の場合、22,000円から補助額の10,000円を引いた、12,000円を医療機関でお支払いください。2回の接種が必要ですので、2回とも補助を利用した場合は、44,000円の接種費用のうち、24,000円が自己負担分となります。